



千葉銀行会社説明会

—個人投資家の皆さまへ—

お客様第一主義+地域のトップバンク

平成22年9月
株式会社 **千葉銀行**
(東証第1部：8331)

■ 千葉県とともに歩む千葉銀行

千葉県の大規模プロジェクト	3
千葉県の人口	4
千葉県の産業構造	5
千葉銀行の歩み	6
千葉銀行のネットワーク	7
千葉銀行の顧客基盤	8

■ 千葉銀行の強み

高い成長性①	10
高い成長性②	11
安定した収益力	12
高い健全性	13

■ 今後の経営戦略

「広域千葉圏」	15
店舗戦略	16
成長業種への取り組み強化	17
コンサルティング機能の強化①	18
コンサルティング機能の強化②	19
証券戦略	20

■ 地域貢献への取り組み (ビデオ)

■ 株主還元

株主還元①	23
株主還元②	24

■ 参考資料



■ 千葉県とともに歩む千葉銀行

■ 千葉銀行の強み

■ 今後の経営戦略

■ 地域貢献への取り組み(ビデオ)

■ 株主還元

■ 参考資料

千葉県の大規模プロジェクト

■大規模プロジェクトなどを通じて更なる成長を見込む

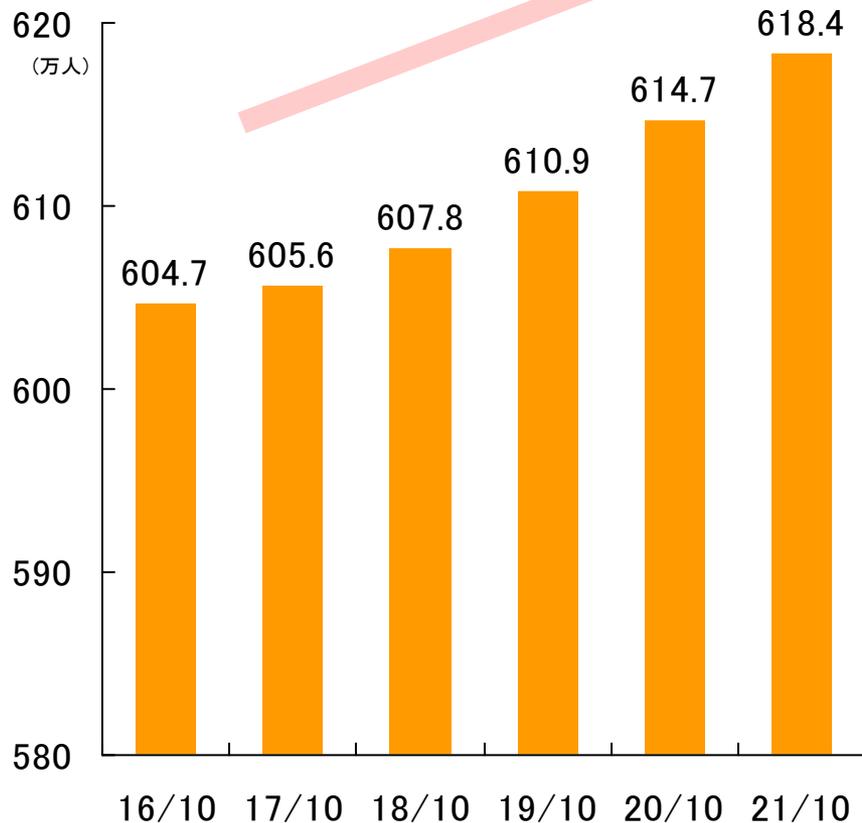
千葉県内の大規模プロジェクト



千葉県の人ロ

■ 日本全体では人口が減少に転じる中、千葉県は引き続き人口が増加

千葉県の人口



出所:「千葉県毎月常住人口調査」(千葉県)

人口転入数ランキング(21年中)

千葉県の人口転入数
全国第2位

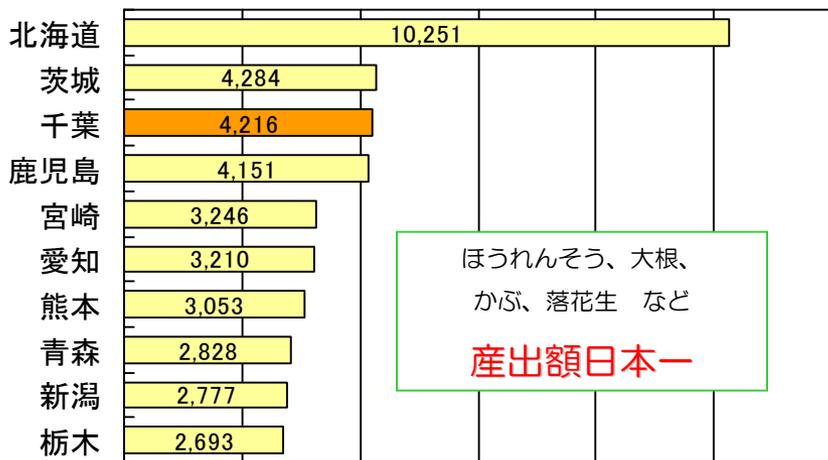
(人)		
	都道府県名	純転入数
1	東京都	56,220
2	千葉県	21,692
3	神奈川県	21,466
4	埼玉県	18,083
5	愛知県	4,075

出所:「住民基本台帳人口移動報告」(総務省)

千葉県の産業構造

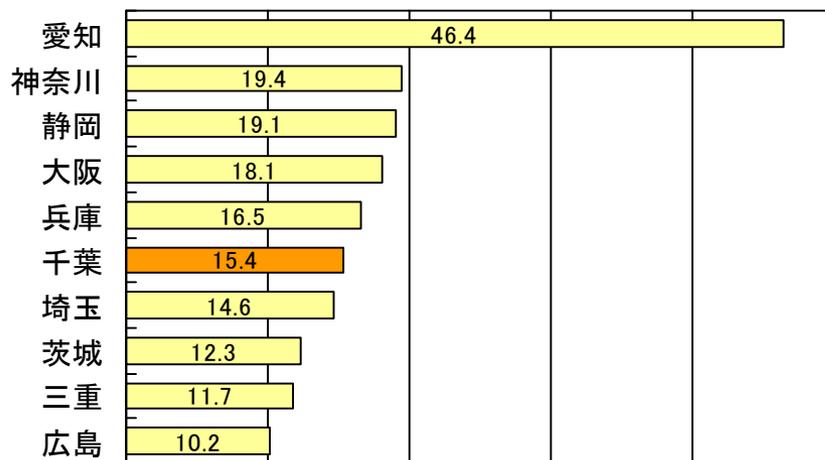
■ 農業や漁業、工業が盛んであることに加え、観光資源にも恵まれた豊かな千葉県

農業産出額 (単位: 億円)



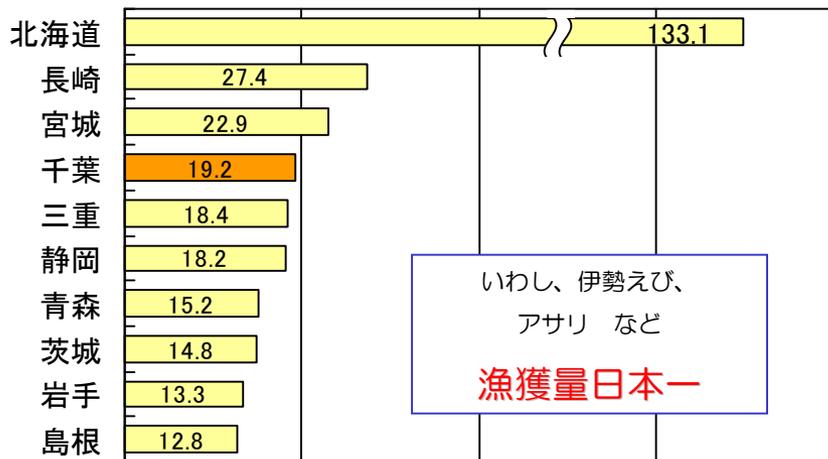
出典: 農林水産省 (平成20年)

製造品出荷額 (単位: 兆円)



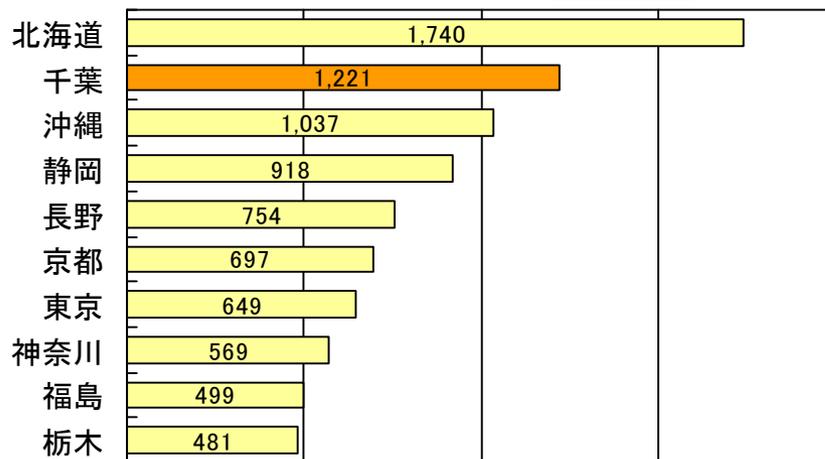
出典: 経済産業省 工業統計表 (平成20年)

漁業生産量 (単位: 万トン)



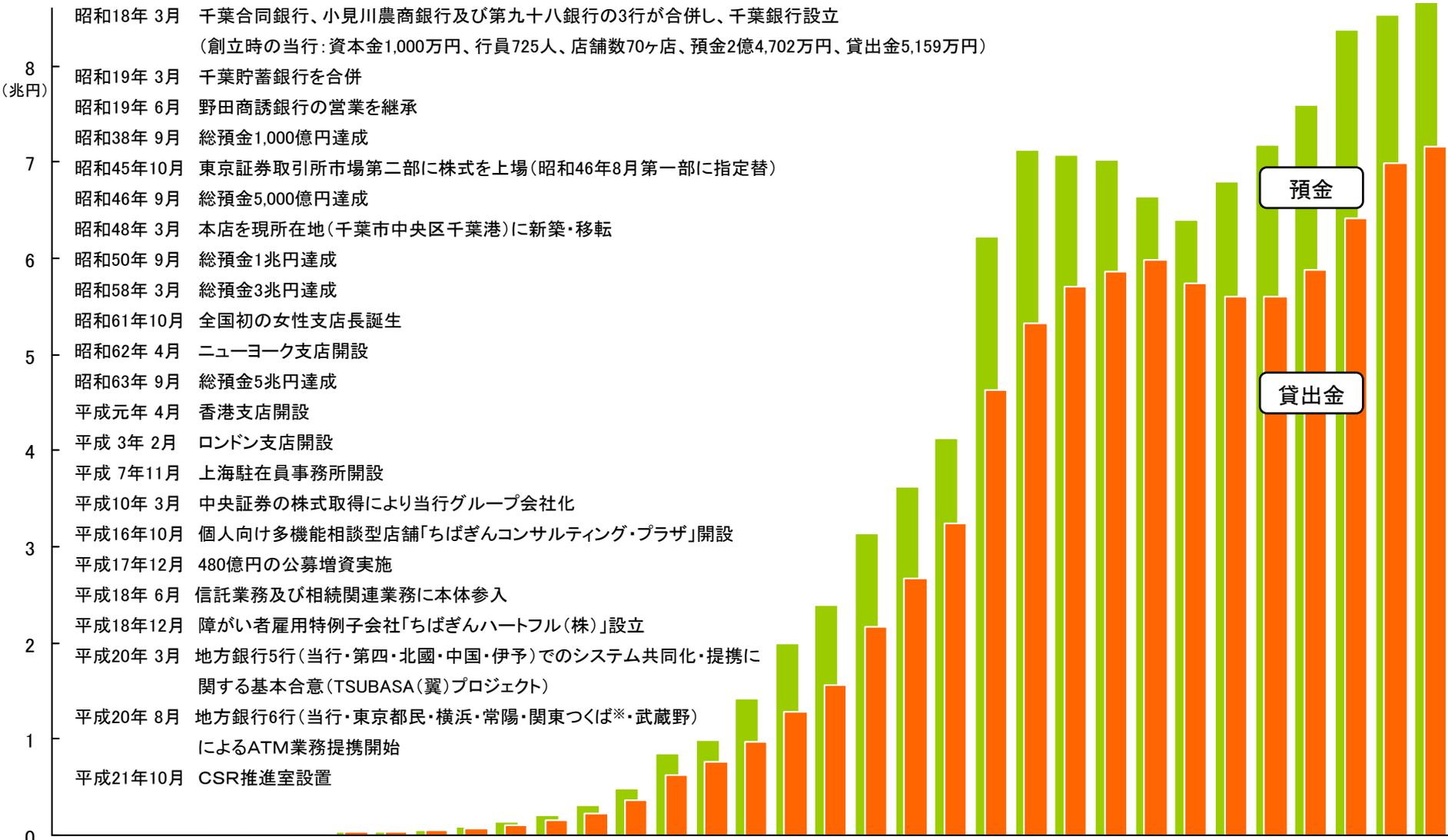
出典: 農林水産省 (平成21年)

観光目的宿泊者数 (単位: 万人)



出典: 観光庁 (平成21年)

千葉銀行の歩み



- 昭和18年 3月 千葉合同銀行、小見川農商銀行及び第九十八銀行の3行が合併し、千葉銀行設立
(創立時の当行: 資本金1,000万円、行員725人、店舗数70ヶ店、預金2億4,702万円、貸出金5,159万円)
- 昭和19年 3月 千葉貯蓄銀行を合併
- 昭和19年 6月 野田商誘銀行の営業を継承
- 昭和38年 9月 総預金1,000億円達成
- 昭和45年10月 東京証券取引所市場第二部に株式を上場(昭和46年8月第一部に指定替)
- 昭和46年 9月 総預金5,000億円達成
- 昭和48年 3月 本店を現所在地(千葉市中央区千葉港)に新築・移転
- 昭和50年 9月 総預金1兆円達成
- 昭和58年 3月 総預金3兆円達成
- 昭和61年10月 全国初の女性支店長誕生
- 昭和62年 4月 ニューヨーク支店開設
- 昭和63年 9月 総預金5兆円達成
- 平成元年 4月 香港支店開設
- 平成 3年 2月 ロンドン支店開設
- 平成 7年11月 上海駐在員事務所開設
- 平成10年 3月 中央証券の株式取得により当行グループ会社化
- 平成16年10月 個人向け多機能相談型店舗「ちばぎんコンサルティング・プラザ」開設
- 平成17年12月 480億円の公募増資実施
- 平成18年 6月 信託業務及び相続関連業務に本体参入
- 平成18年12月 障がい者雇用特例子会社「ちばぎんハートフル(株)」設立
- 平成20年 3月 地方銀行5行(当行・第四・北國・中国・伊予)でのシステム共同化・提携に関する基本合意(TSUBASA(翼)プロジェクト)
- 平成20年 8月 地方銀行6行(当行・東京都民・横浜・常陽・関東つくば※・武蔵野)によるATM業務提携開始
- 平成21年10月 CSR推進室設置

S18.3 S20.3 S22.3 S24.3 S26.3 S28.3 S30.3 S32.3 S34.3 S36.3 S38.3 S40.3 S42.3 S44.3 S46.3 S48.3 S50.3 S52.3 S54.3 S56.3 S58.3 S60.3 S62.3 H1.3 H3.3 H5.3 H7.3 H9.3 H11.3 H13.3 H15.3 H17.3 H19.3 H21.3 H22.3

※現筑波銀行

千葉銀行のネットワーク

■ 千葉県を中心に充実した店舗網を有し、海外にも3支店1駐在員事務所を設置

国内店舗網



海外ネットワーク



	22/3末	17/3末比
店舗数	175	+13
国内	172	+13
千葉県内	155	+5
県外	17	+8
海外	3	0
両替出張所	3	+1
海外駐在員事務所	1	0

千葉銀行の顧客基盤

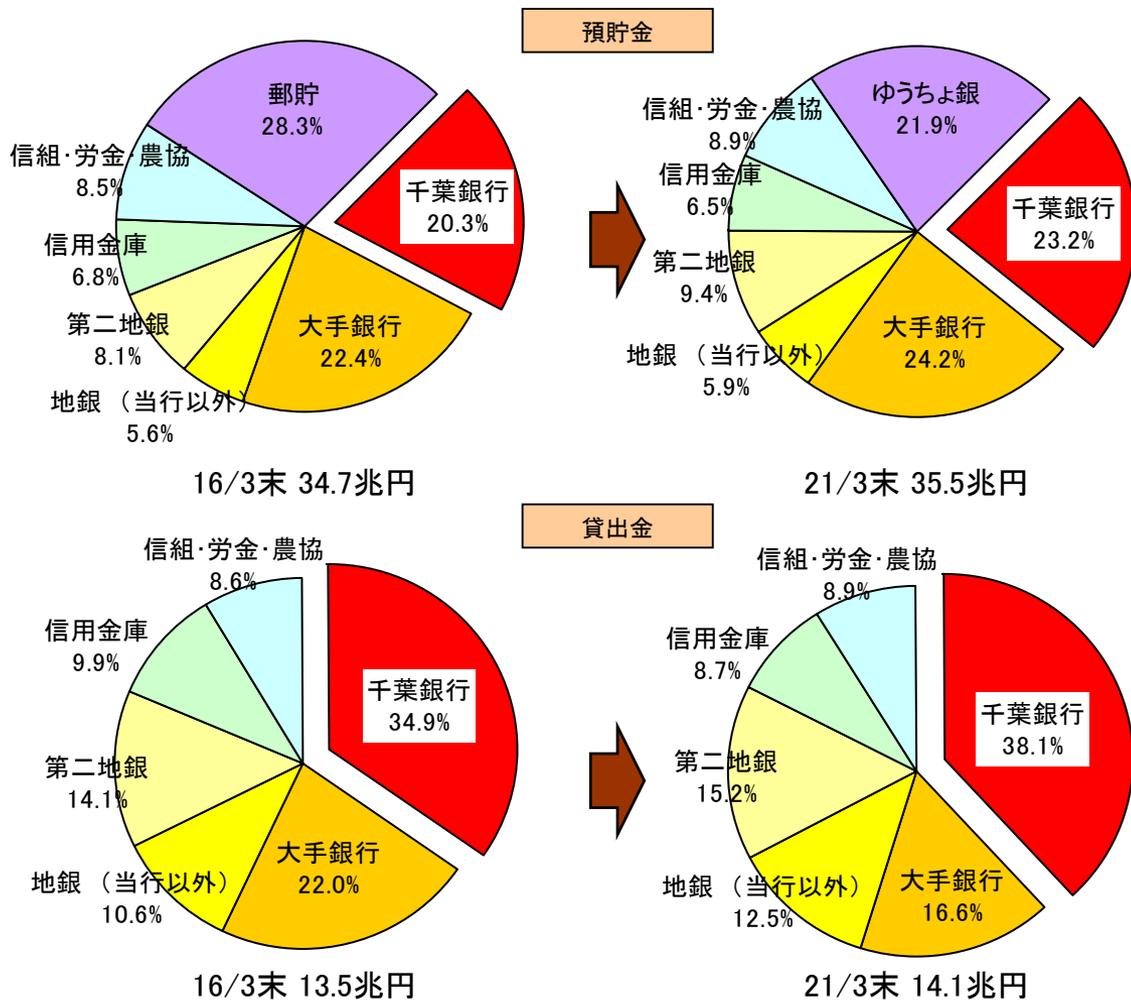
■ 千葉県を中心に強固な顧客基盤を有し、千葉県内シェアは着実に増加

当行の顧客基盤

預金残高	8.8兆円 (地銀第2位)
貸出金残高	7.1兆円 (地銀第2位)
個人預金先数	428万先 (うち千葉県内のお客さま: 421万先)
(うち給与振込をご指定のお客さま)	(85万先)
(うち年金のお受取をご指定のお客さま)	(40万先)
法人預金先数	20万先

※22/3末現在

千葉県内金融機関シェア



出所: 金融ジャーナル

■ 千葉県とともに歩む千葉銀行

▶ ■ 千葉銀行の強み

■ 今後の経営戦略

■ 地域貢献への取り組み(ビデオ)

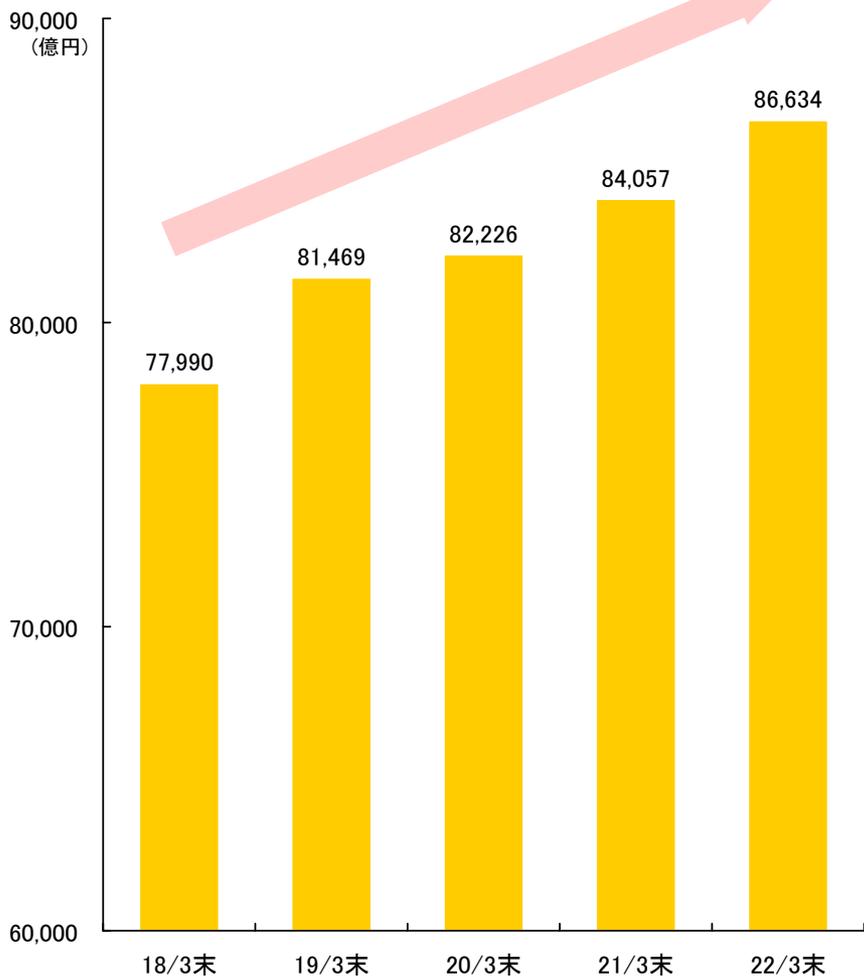
■ 株主還元

■ 参考資料

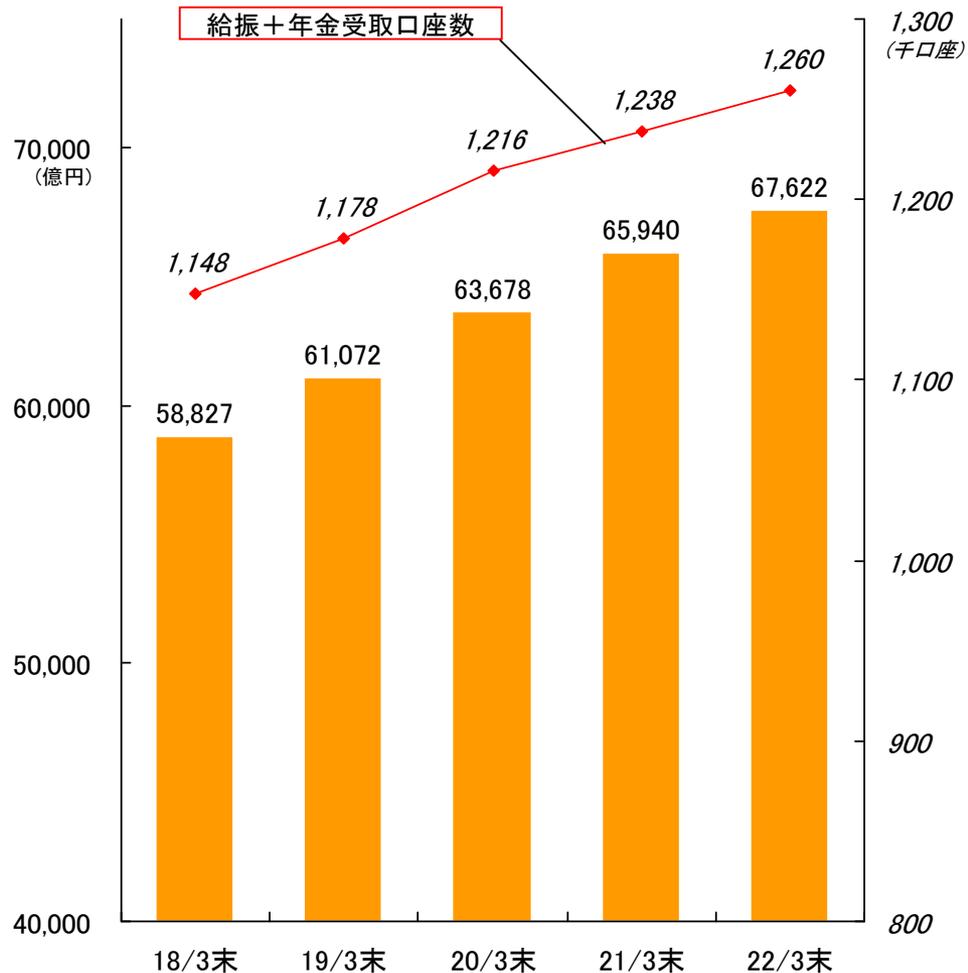
高い成長性①

■ 個人預金を中心に預金が堅調に増加

国内預金



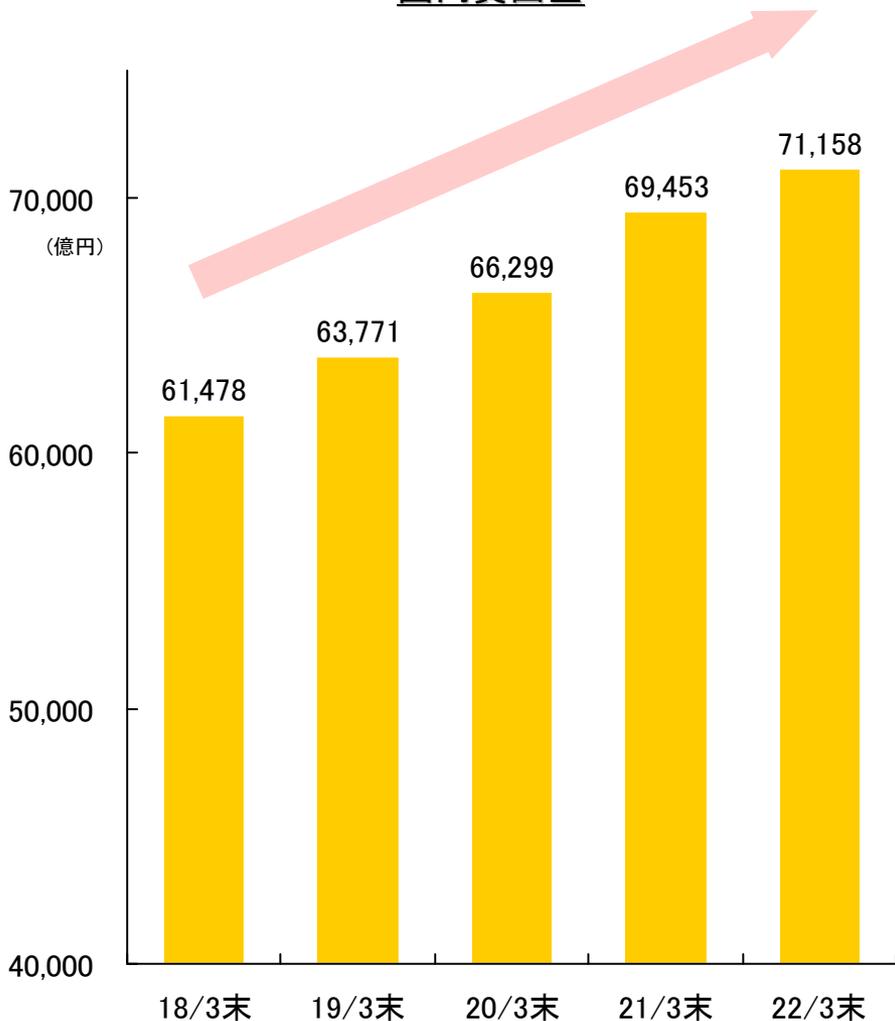
左記のうち個人預金



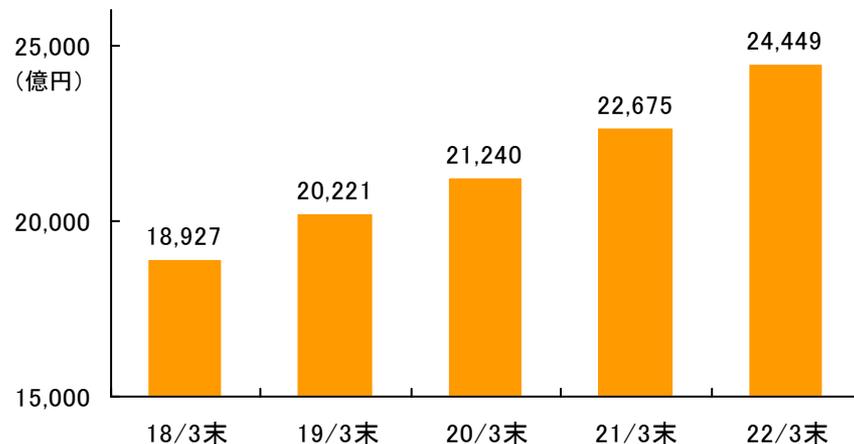
高い成長性②

■ 住宅ローンや地域のお客さまの事業性資金を中心に貸出金が増加

国内貸出金



住宅ローン残高推移



企業の皆さまとの強いつながり

「全国メインバンク調査」 **第1位**
(地方銀行64行中)

順位	金融機関名	社数
1	 ちばきん	17,163
2	西日本シティ	16,794
3	静岡	15,014
4	福岡	14,835
5	横浜	13,591

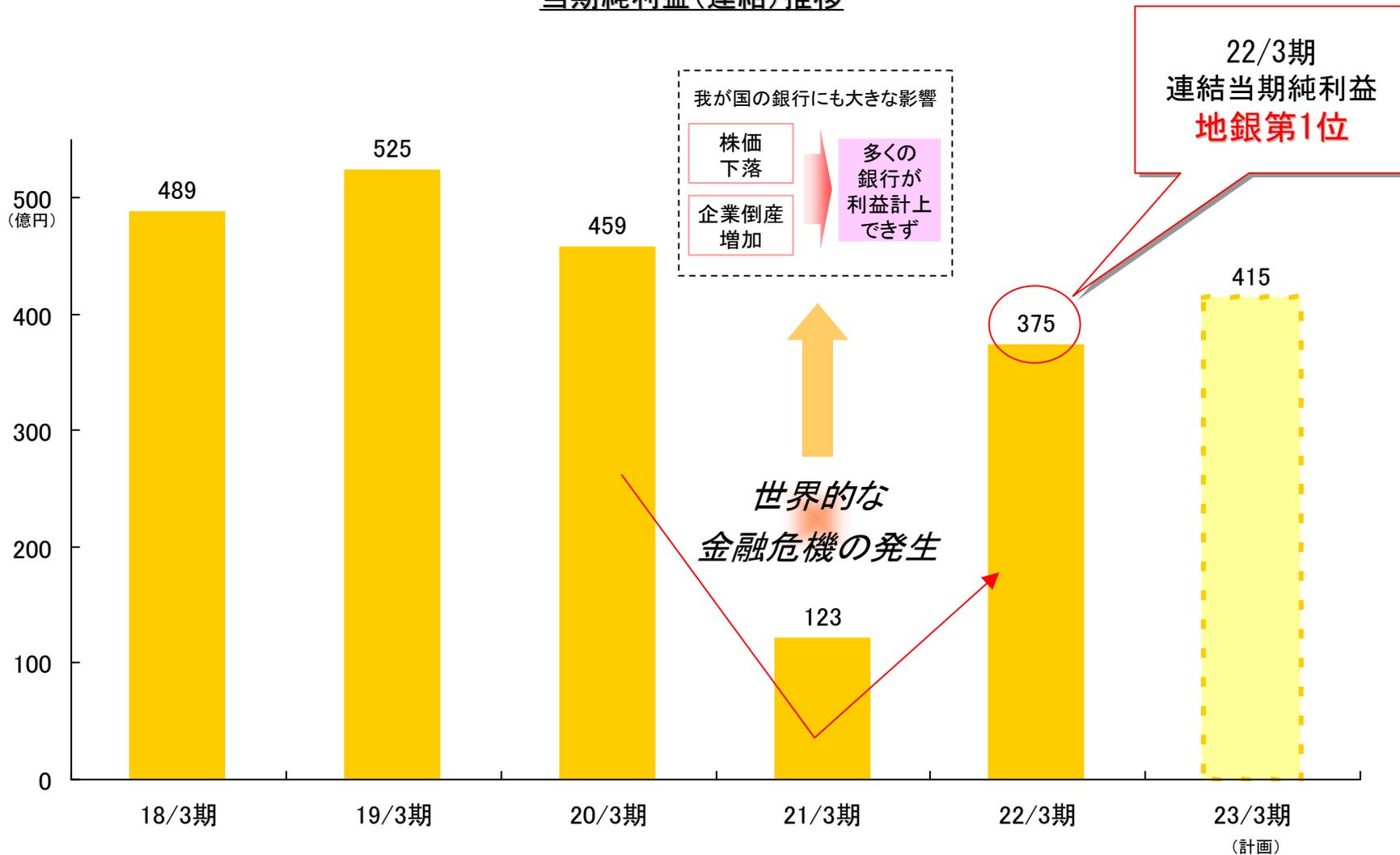
約1万7千社のお客さまから当行をメインバンクとしてお取引を頂いております。

※帝国データバンク調査(21年11月)

安定した収益力

■ 世界的な金融危機の中においても黒字を確保、利益水準は地銀首位

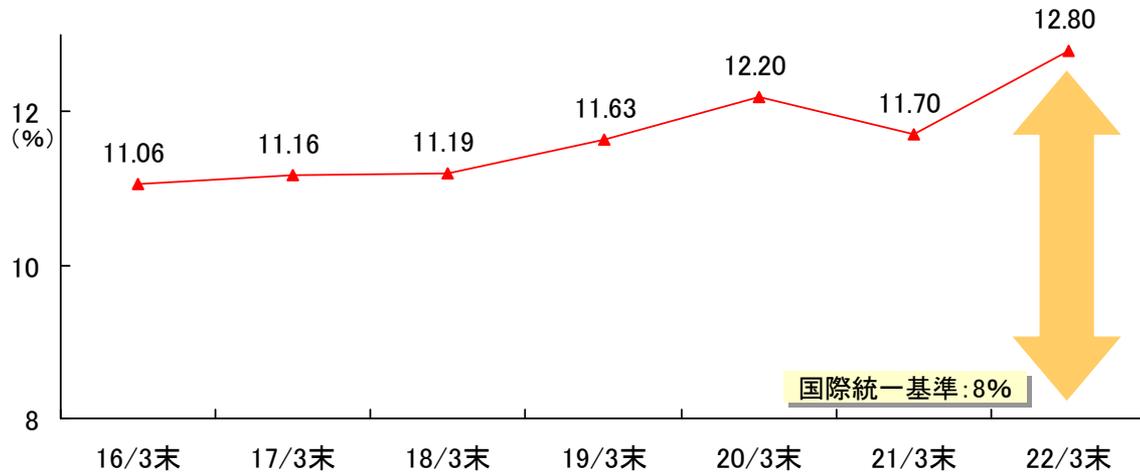
当期純利益(連結)推移



高い健全性

■ 高い健全性で、地域へ円滑かつ安定的に資金を供給

当行の連結自己資本比率推移



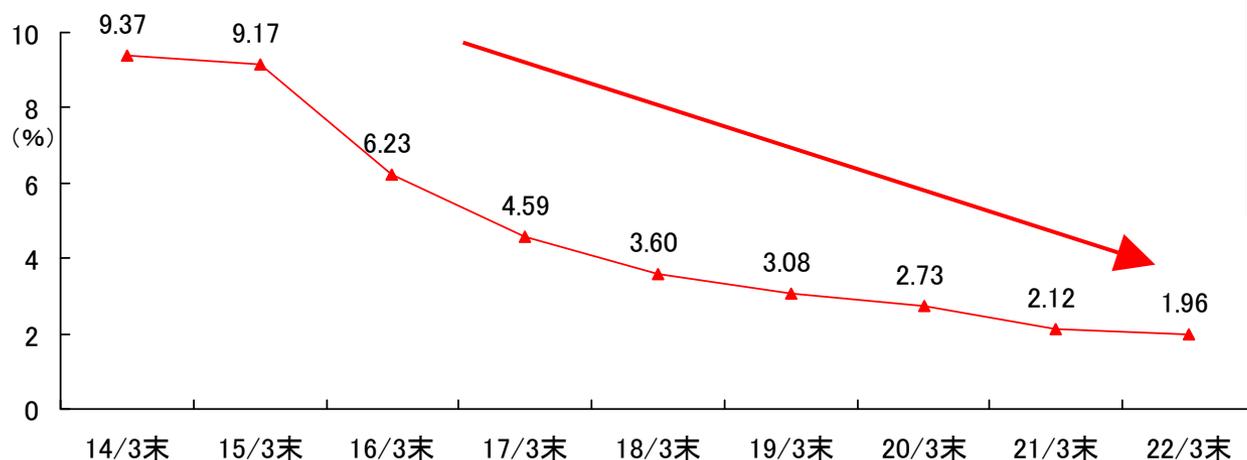
銀行格付比較

(平成22年7月末現在)

格付	銀行名
AA	静岡
AA-	千葉 横浜 常陽
A+	福岡 群馬 八十二 三菱東京UFJ銀行 三菱UFJ信託銀行 みずほ銀行 みずほコーポレート銀行 みずほ信託銀行 三井住友銀行 住友信託銀行
A	りそな 埼玉りそな
A-	
BBB+	新生 あおぞら

※ R&I(格付投資情報センター)による発行体格付

金融再生法 開示債権比率推移



■ 千葉県とともに歩む千葉銀行

■ 千葉銀行の強み

▶ ■ 今後の経営戦略

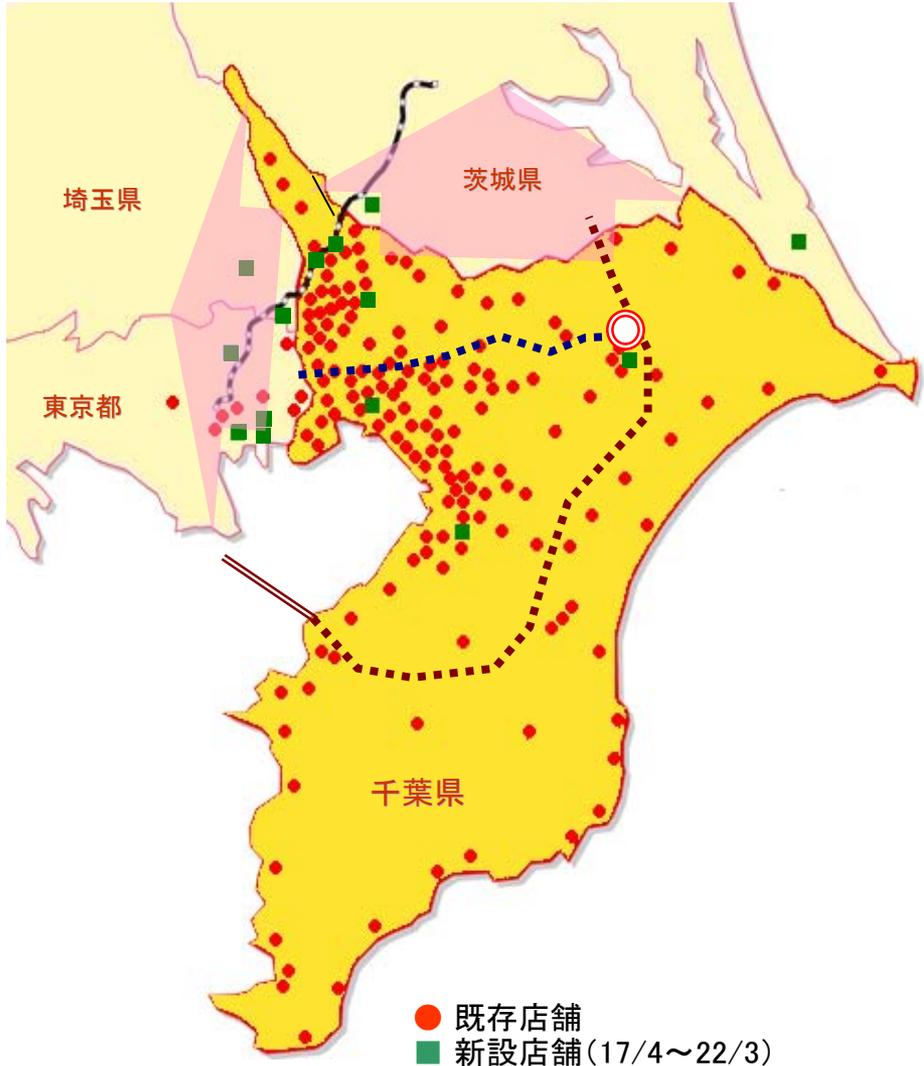
■ 地域貢献への取り組み(ビデオ)

■ 株主還元

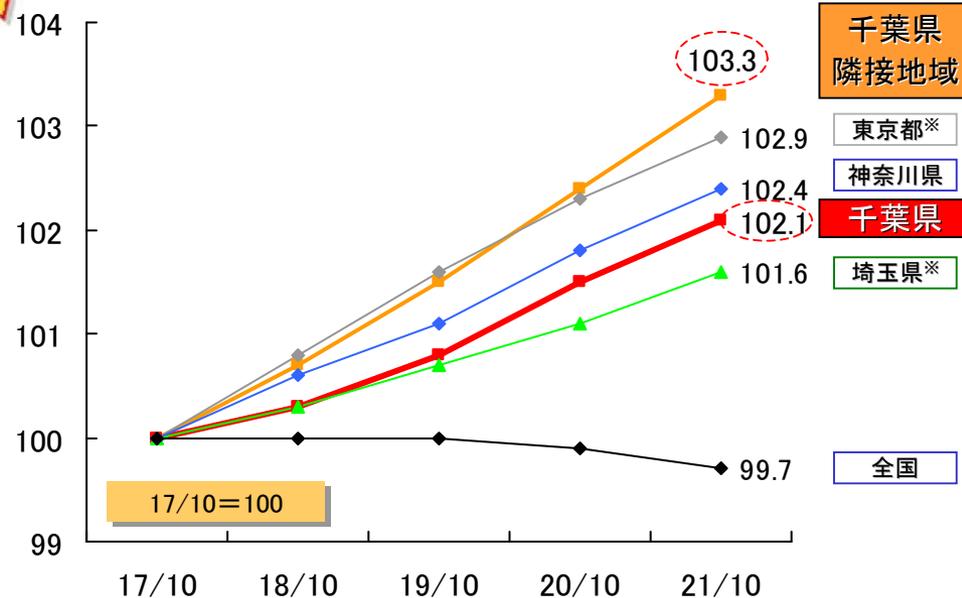
■ 参考資料

「広域千葉圏」

■ 「広域千葉圏」は引き続き成長する魅力的なマーケット



千葉県隣接地域の人口増加の状況

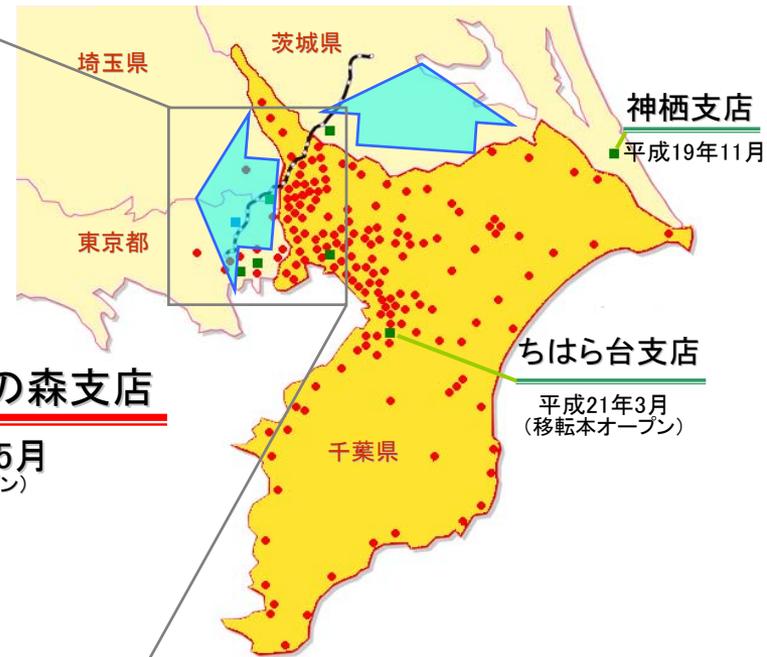


出所:「人口推計」(総務省)・「毎月常住人口調査」(各都県)

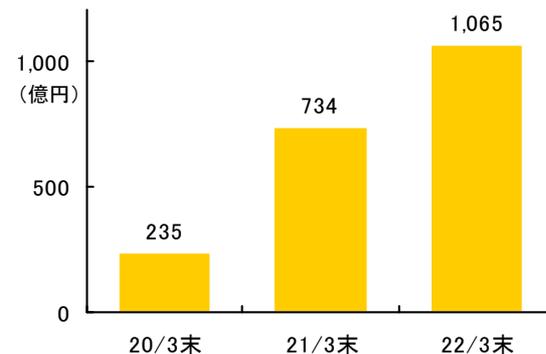
※東京都・埼玉県は千葉県隣接地域の人口を控除して算出

店舗戦略

■ 広域千葉圏の成長地域に積極的に出店、さらなる収益拡大をめざす



つくばエクスプレス沿線新設店舗貸出残高



※柏の葉キャンパス・流山おおたかの森・八潮駅前・守谷・千住の各店舗の支店設置後の残高を記載

成長業種への取り組み強化

■ 地域経済発展のため、農業をはじめとする成長業種への取り組みを強化

農業

農業産出額 都道府県ランキング
(億円)

都道府県名	農業産出額
1 北海道	10,251
2 茨城	4,284
3 千葉	4,216
4 鹿児島	4,151
5 宮崎	3,246

出所: 農業産出額[平成20年] (農林水産省)

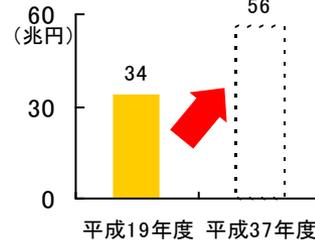
医療

千葉県の医療費: 1.3兆円
医療施設従事者: 21万人

国民医療費見込み

少子高齢化の進展

医療・介護
ニーズの拡大



観光

豊富な観光資源

観光立国・立県
への取り組み

平成20年10月
観光庁設置

東京湾
アクアライン
通行料
引き下げ

都道府県別宿泊者数

延べ宿泊者数		うち観光目的*	
都道府県名	順位	都道府県名	順位
1 東京	1	1 北海道	1
2 北海道	2	2 千葉	2
3 大阪	3	3 沖縄	3
4 千葉	4	4 静岡	4
5 沖縄	5	5 長野	5

出所: 宿泊旅行統計[21年] (観光庁)
※「観光目的が50%以上」の宿泊施設への
宿泊者数の順位

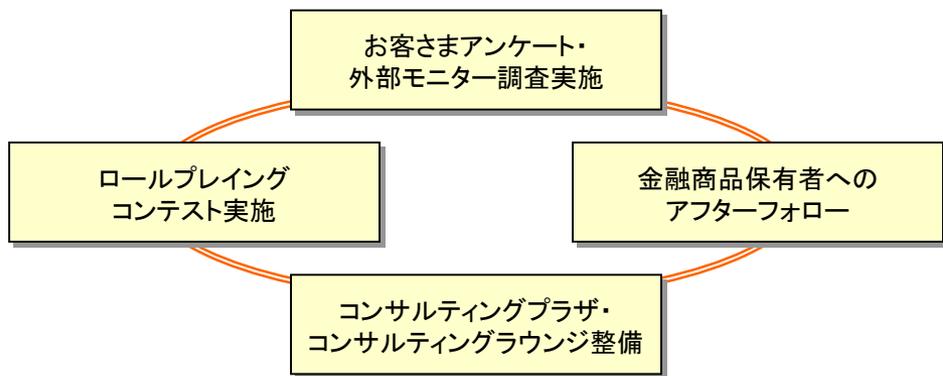
営業開発部内に専担者を配置し、取り組みを強化

各種セミナー・ビジネスマッチングの実施

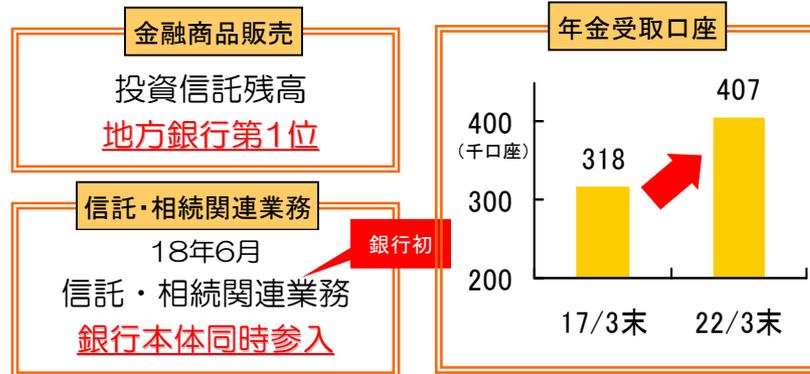


■ コンサルティング機能のさらなる向上に向けて体制を強化

コンサルティング機能向上に向けた取り組み



さらなるコンサルティング機能向上に向けた体制整備

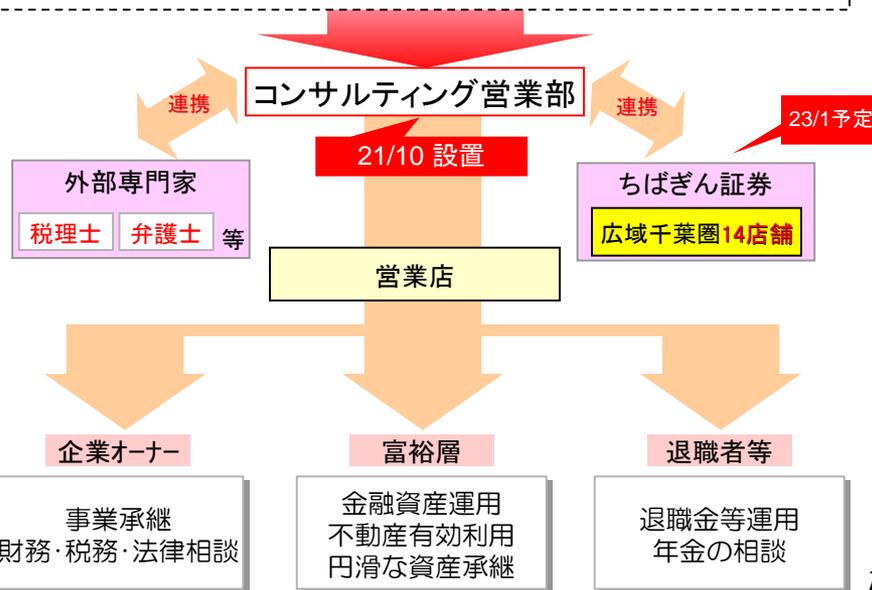


✓ 本部各部に分散していた上記にかかる企画・推進業務等を一元化

「銀行リテール力調査」**2年連続第1位**
(全国121銀行中)

20年		21年	
順位	金融機関名	順位	金融機関名
1	 ちばきん	1	 ちばきん
2	東京スター	2	みずほ
3	但馬	3	東京スター
4	三井住友	4	三菱東京UFJ
5	常陽	5	横浜

※日本経済新聞社・日経リサーチ共同調査



顧客
コース

- お客さまからの相談をお受けする拠点としてコンサルティングプラザを設置

コンサルティングプラザ千葉



コンサルティングプラザ柏



コンサルティングプラザ船橋



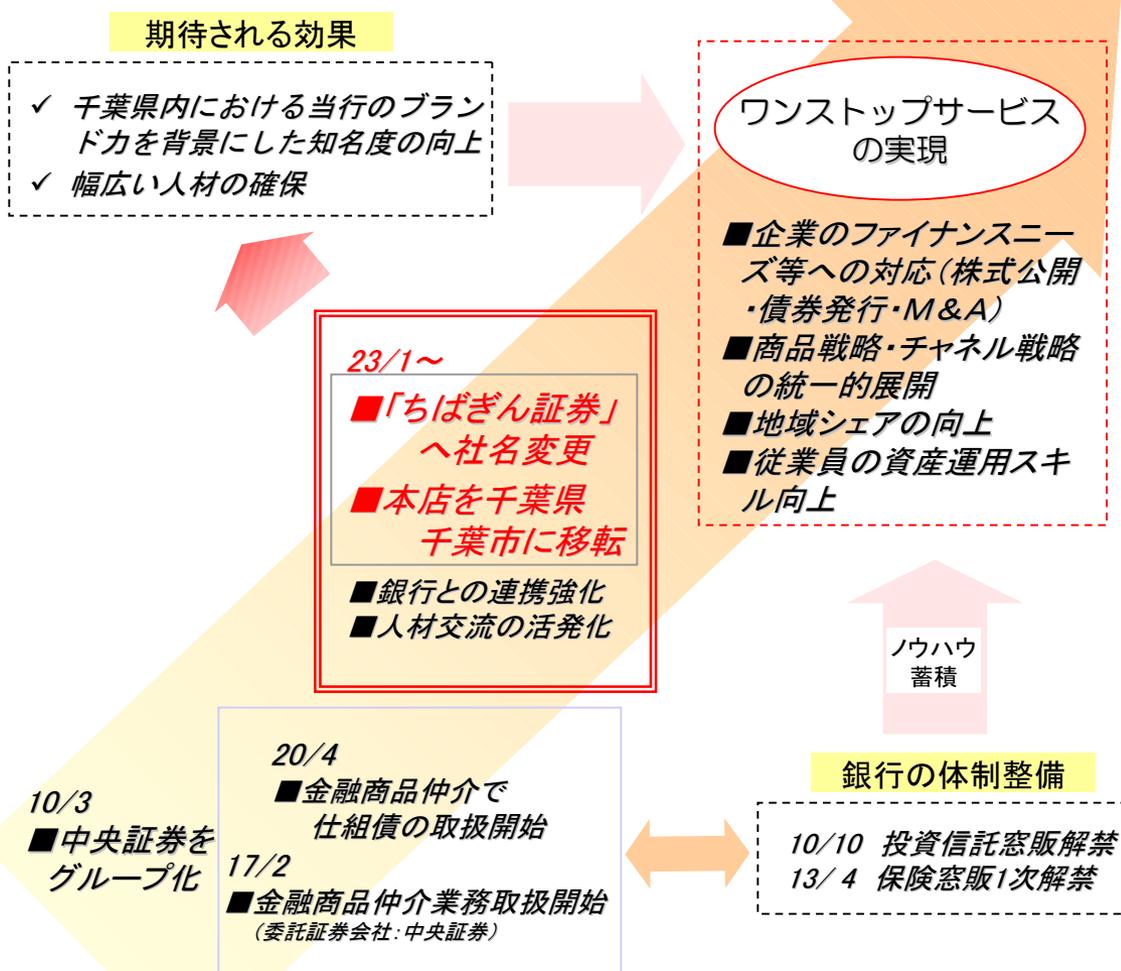
■中央証券を「ちばぎん証券」に社名変更し、ワンストップサービスの実現を目指す

中央証券の現状

沿革	明治16年 旧小布施証券創業 大正12年 旧鳥海証券創業 昭和56年 上記2社が合併し 中央証券発足 平成10年 千葉銀行グループ入り
店舗数	16店舗 (千葉12、東京1、埼玉1、茨城1、長野1)
従業員数	219名(平均勤続年数17.0年)
業績等	営業収益 3,406百万円 当期純利益 252百万円 自己資本規制比率 1,091.3%
顧客基盤	登録口座数 65千先 預かり資産残高 5,393億円
資本の状況	資本金 4,374百万円

(22年3月末現在)

証券ビジネスの展開



■ 千葉県とともに歩む千葉銀行

■ 千葉銀行の強み

■ 今後の経営戦略

▶ ■ 地域貢献への取り組み(ビデオ)

■ 株主還元

■ 参考資料

■ 千葉県とともに歩む千葉銀行

■ 千葉銀行の強み

■ 今後の経営戦略

■ 地域貢献への取り組み(ビデオ)

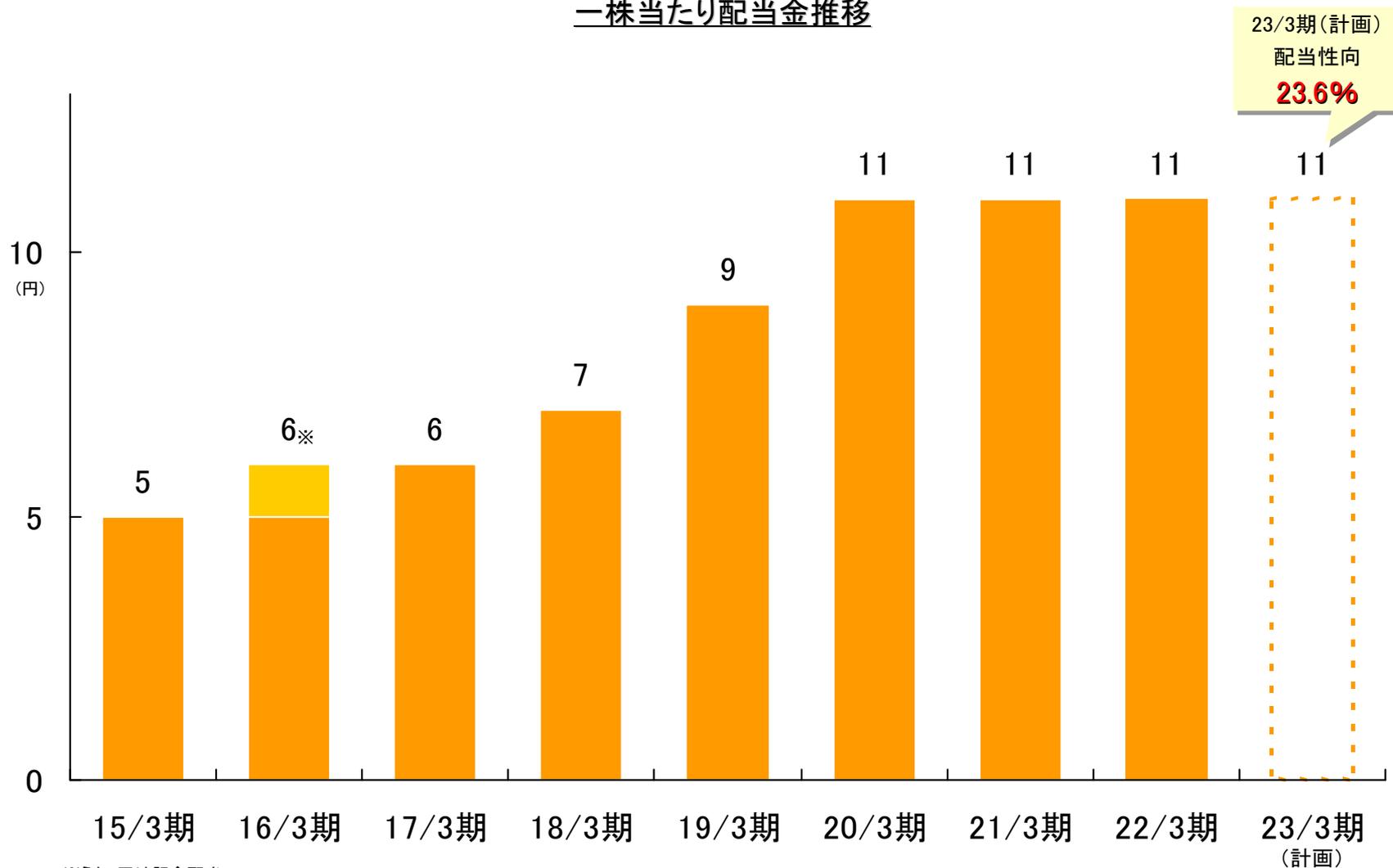
▶ ■ 株主還元

■ 参考資料

株主還元①

■ 安定配当の考え方を維持しつつ、積極的に利益を還元

一株当たり配当金推移



※うち1円は記念配当

株主還元②

■ 株主さまの幅広いニーズにお応えするため、株主優待制度を拡充

株主優待制度

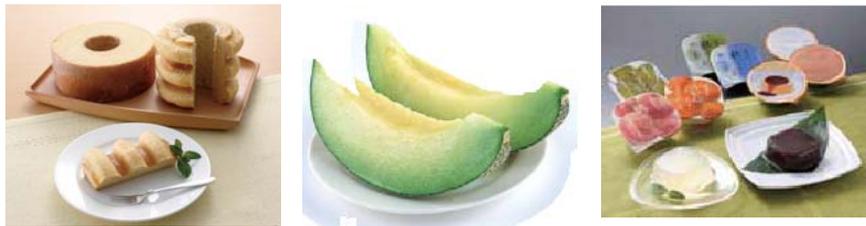
オリジナル株主優待カタログに記載の2コース（①特産品コース、②金融コース）のいずれかをお選びいただけます。



特産品コース

カタログに記載された千葉県の特産品等からお好みの商品をお選びいただけます。

<人気商品の例>



※写真はすべて3,000円相当カタログ掲載の商品

金融コース

当行およびグループ会社が提供する金融商品・サービスの優待が受けられる株主優待クーポンをお送りいたします。

<株主優待クーポン1枚で受けられる優待内容>

1	定期預金金利0.2%上乗せ (上限500万円、期間1年)
2	外国通貨両替手数料20%割引 (上限100万円両替分[割引後レートで換算])
3	遺言信託引受承諾手数料(21万円[税込])20%割引
4	中央証券の国内上場株式売買委託手数料20%割引 (上限1万円、期間1年)
5	ちばぎん総合研究所のセミナー受講料20%割引 (上限1万円)

※上記のいずれかが1つをお選びいただけます

■ 千葉県とともに歩む千葉銀行

■ 千葉銀行の強み

■ 今後の経営戦略

■ 地域貢献への取り組み(ビデオ)

■ 株主還元

▶ ■ 参考資料

ちばきん (ご参考) 22年3月期業績概要①

■ 債券関係損益の改善を主因として実質業務純益が大きく増加

<億円>	21/3期	22/3期	
			増減額
業務粗利益 ①	1,421	1,621	200
資金利益	1,466	1,433	△ 33
役務取引等利益	153	141	△ 12
特定取引利益	47	30	△ 17
その他業務利益	△ 246	16	263
うち 債券関係損益 ②	△ 284	△ 9	274
経費 ③	799	803	4
うち 人件費	387	403	15
うち 物件費	369	359	△ 9
実質業務純益 ①-③	622	818	195
コア業務純益 ①-②-③	907	828	△ 78

<億円>	22/3期	
		増減
資金利益	1,433	△ 33
国内業務部門	1,396	△ 25
うち 預貸金	1,255	△ 28
貸出金利息	1,373	△ 97
預金利息	117	△ 69
うち有証利息配当金	160	0
国際業務部門	36	△ 7
<small>▽オルタナティブ投資・投資信託の解約損17億円が資金利益より控除されている</small>		
役務取引等利益	141	△ 12
役務取引等収益	313	△ 5
うち 投信+年金保険等	80	1
投資信託	39	△ 0
年金保険等	40	1
うち法人関連手数料*	9	△ 4
役務取引等費用	172	7
うちローン関係費用(団信・保証料)	102	6
<small>*私募債・シジケートローン・M&A・CLO関連手数料</small>		
特定取引利益	30	△ 17
うちCP	12	△ 19
<small>▽CP引受け利回りの低下(0.91%→0.34%)</small>		

ちばきん (ご参考) 22年3月期業績概要②

■ 有価証券関係損益、実質信用コストとも大きく改善し、当期純利益は約3倍に増加

＜億円＞	21/3期	22/3期		
			増減額	
実質業務純益	622	818	195	
一般貸倒引当金純繰入額 ④	75	6	△ 68	
業務純益	547	811	264	
臨時損益	△ 481	△ 277	204	
うち 不良債権処理額 ⑤	350	257	△ 93	
うち 株式等関係損益 ⑥	△ 145	△ 11	134	
経常利益	65	09/11 公表値 480	534	469
特別損益	49	64	14	
うち 償却債権取立益 ⑦	53	69	16	
当期純利益	113	320	362	248
有価証券関係損益 ②+⑥	△ 430	△ 21	408	
実質信用コスト ④+⑤-⑦	372	194	△ 177	
連結当期純利益	123	330	375	251
連単差	10	13	2	

株式関係損益

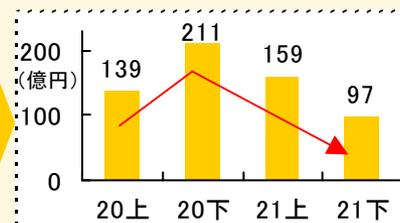
＜億円＞	22/3期	
		増減
株式関係損益	△ 11	134
売却益	19	16
売却損	27	26
償却	3	△ 144

✓ 株式(簿価・単体)131億円圧縮

実質信用コスト

＜億円＞	22/3期	
		増減
一般貸倒引当金純繰入額	6	△ 68
不良債権処理額	257	△ 93
新規発生 (債務者区分悪化)	241	△ 95
担保	34	△ 11
回収等(含引当率低下)	△ 17	13
信用コスト	264	△ 161
償却債権取立益	69	16
実質信用コスト	194	△ 177

不良債権処理額
半期毎推移



ちばきん (ご参考) 23年3月期 業績予想

■ トップラインの拡大と実質信用コストの減少により、当期純利益の中計目標達成を目指す

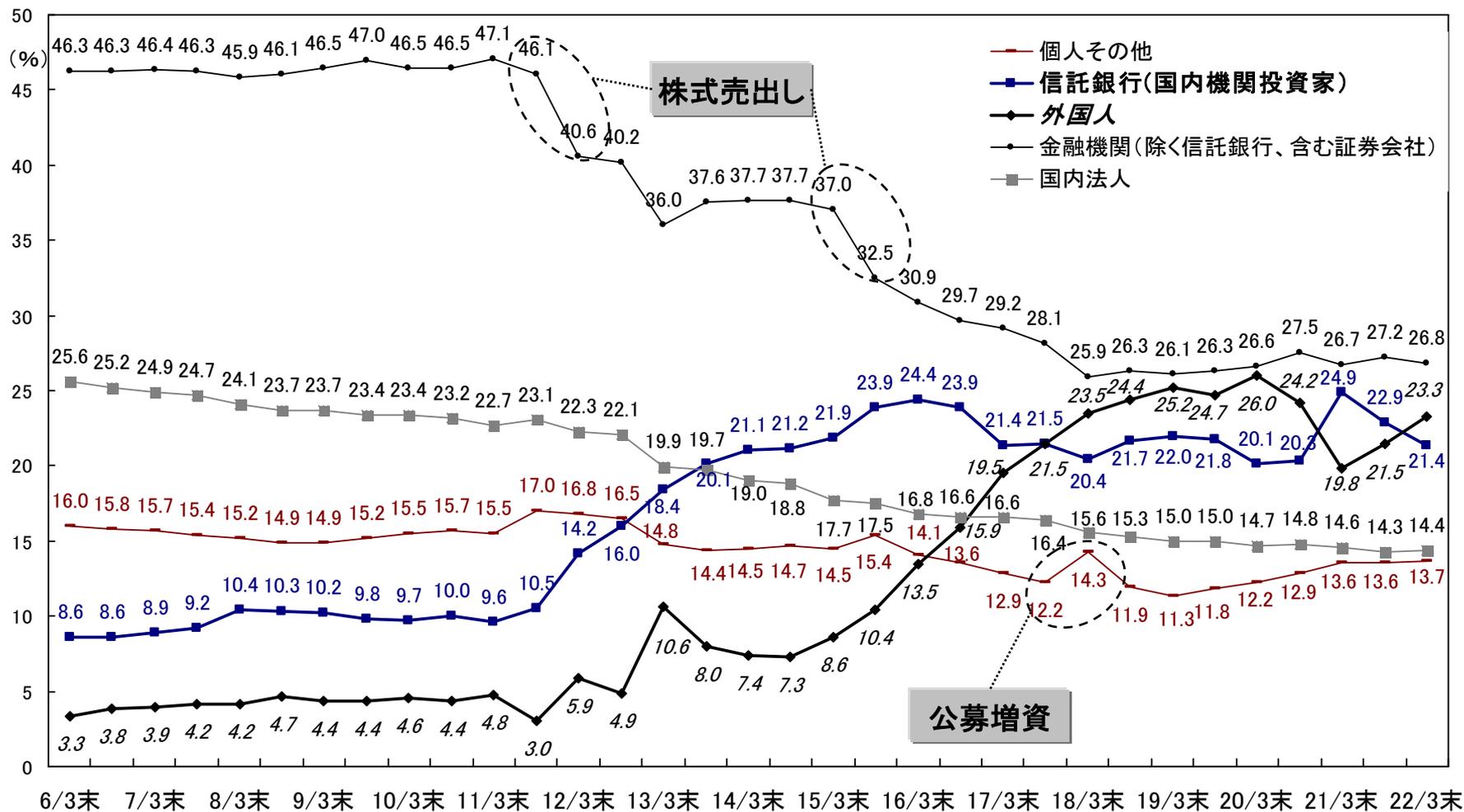
<億円>	22/3期	23/3期		23/3期
	(実績)	(計画)	22/3期比	(中計)
業務粗利益	1,621	1,650	28	
うち 資金利益	1,433	1,450	16	
うち 役務取引等利益	141	150	8	
うち 債券関係損益	△ 9	△ 15	△ 5	
経費	803	820	16	
実質業務純益	818	830	11	900
経常利益	534	630	95	
当期純利益	362	400	37	400
実質信用コスト	194	170	△ 24	
連結経常利益	568	660	91	
連結当期純利益	375	415	39	415
一株あたり配当	11円	11円		
配当性向	26.1%	23.6%		

中計比△70

資金利益 △40億円
経費 △20億円
債券 △15億円
その他合計 + 5億円

※連結経常利益、連結当期純利益、配当性向以外は単体ベース

(ご参考)株主構成の変化



本資料に関する
ご意見、ご感想、お問い合わせは
下記IR担当までお願いいたします。

株式会社 千葉銀行経営企画部(IR担当)

Tel: 043-301-8147

Fax: 043-242-9121

E-Mail: ir@chibabank.co.jp

本資料には、将来の業績にかかる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。